

2013 年度統計関連学会連合大会組織委員会 2013 年度第 1 回
統計関連学会連合理事会 2013 年度第 1 回 (議事要旨)

日時：2013 年 4 月 27 日 (土) 14 時—17 時、統計数理研究所八重洲分室

出席者

(一社)日本統計学会 鎌倉、岩崎 応用統計学会 川崎
日本行動計量学会 岩崎 日本計量生物学会 椿
日本計算機統計学会 栗原、石橋、日本分類学会 今泉、竹内
連合大会 3 委員会 大屋、栗原、佐藤

欠席者

(一社)日本統計学会 国友 (岩崎理事長代理出席)
応用統計学会 瀬尾 (川崎会長に議決権委任)
日本行動計量学会 渡辺 (岩崎学会理事に議決権委任)、菊池 (岩崎学会理事に議決権委任)
日本計量生物学会 大橋 (椿学会理事に議決権委任)
幹事：大西、黒木

2013 年度第 1 回統計関連学会連合大会組織委員会議事要旨(案)

配布資料

1. 前回組織委員会、理事会議事録
2. 連合大会予算案
3. 連合大会第 2 報

審議事項 1. 議事録確認 (理事会との共有議題)

前回理事会並びに組織委員会議事録について承認された。

審議事項 2. 2013 年度連合大会予算案承認

2013 年度連合大会予算案について次期繰越金状況、会場費など確認の上承認された。

審議事項 3. 2013 年度連合大会コンペティションセッション審査

各学会から 2 名の審査員を出す。6 月 29 日までに審査員出す。そのため、プログラム委員長から各学会担当理事に依頼状を出すこととした。

報告事項 1. 2013 年度連合大会準備状況報告

- 1-1: 運営委員会報告

2013年度連合大会運営委員長より下記の報告があった：

- ①2013年度連合大会会場を視察した。
- ②委託業者となるISSとの契約を行った。
- ③連合大会第2報を作成した。
- ④HPの作成状況については例年通りである。
- ⑤3委員長の連携、運営委員の協力で順調に進んでいる。

1-2：実行委員会報告

①2013年度連合大会、4日間の会場費10部屋、展示室など6部屋がほぼ確定した。100名以下の部屋は作らない大阪大耐震補修工事の変更により会場費無料となった部屋もある)。

②保育所設置は全大会の方針を引き継ぎ、まずは準備を開始した。リクエストがあれば大阪中心地の保育所紹介などの方向を模索している。人数によって、大学のサポートがある可能性もある。

③懇親会は上限200名の懇親会場を想定している。

1-3 プログラム委員会報告：

①副委員長（早稲田大学：西郷先生）が、次期プログラム委員長であることを確認した。
ン

②企画セッションは17件の応募があり、委員会で検討し承認した。1～7が学会企画である。8～15までは会員からの企画である。16～17は大学間連携の中間報告である。1企画セッション2時間とする。

③チュートリアルは、日本統計学会と日本計算機統計学会が企画した。

④市民講演会は、日本計量生物学会と日本分類学会が担当する。

報告事項2. 2014年度連合大会について

2014年度連合大会は9月7日～10日、東京大学で行うことを目指すが、まだ会場借り上げの期間に至っていないため、確定は出来ていない。

報告事項3 連合大会における文科省数理科学セッション

組織委員長より、連合大会における文科省数理科学セッションへの今年度の応募について依頼があり、公募に応じることとした。

懇談事項：ビッグデータへの対応について（理事会との共有議題）

特に結論はまとめていないが次のような意見交換があった。

- ・連合として、事業委員会で研究プロジェクトを要請に応じて引出のように提供できるよ

うにし、CRESTなどの公募があればいつでも対応できる必要がある。学会連合として産学
研究プロジェクト形成するには1年近くかかるのではないか？

- ・科研費細目「統計科学」の扱い。企業と組んで分科等に挙げるができないか？
- ・データサイエンティスト、最強の統計学といったトレンドへの対応は、如何？NEC、富士通のビッグデータの分析、ビジネスにアクセスするにはデータ解析コンペのような活動も有効ではないか？いずれにせよ、学会と世の中のインターフェースを作成する必要がある。

統計関連学会連合理事会 2013 年度第 1 回議事要旨(案)

配布資料

1. 統計家の行動基準(案)

審議事項 1. 連合理事会構成員の確認、理事会の成立と議決権の確認

本理事会出席者については、岩崎氏（3 票）、川崎、椿（2 票）、鎌倉、栗原、石橋、今泉、竹内（1 票）の権利を有している。

審議事項 2. 次期理事長候補者名簿の確認

石橋、今泉、大橋、鎌倉、川崎、菊池、国友、栗原、瀬尾、竹内、渡辺が被選挙権者である。連合理事長は留任が許されないので椿理事長には被選挙権はないことを確認した。

審議事項 3. 次期理事長選出

投票を 2 回行い、鎌倉理事を次期理事長に選出した。

審議事項 4. 統計関連学会連合の倫理規定について

- ・起案グループから提出された背景は、本文には含めないこととした。
- ・各学会は、5 月末で鎌倉新理事長に原案に対する意見を提示し、9 月連合大会の理事会の際に承認を目指したい。

報告事項 1. 大学入試に関わる提言に対する国大協の回答について

椿理事長より、田栗統計教育推進委員会委員長が国立大学協会入試委員会に対して高等学校数学ⅡBの「確率統計」を大学入試から排除しないように提言を行ったが、1 月入試委員会において、本問題が各大学のアドミッションポリシーである旨、棄却されたことが報告された。

その他

- ・シンフォニカとの契約内容を確認する必要がある。
- ・統計教育推進委員会の委員交替の必要性があるのではないか？__

(文責：椿 広計)